

横浜国立大学
大学院先進実践学環
履修案内

令和 5 年度（2023 年度）入学者用

目次

学事暦	P.2
1 大学院先進実践学環の概要	
(1) 先進実践学環の目的と養成する人材像について	P.3
(2) カリキュラムポリシーについて	P.3
(3) 研究テーマについて	P.3
(4) 12 の授業群について	P.5
(5) 授与する学位について	P.5
(6) 学修証明書について	P.5
2 履修手続	
(1) 授業について	P.6
(2) 履修登録について	P.6
(3) 試験について	P.7
(4) 学業成績について	P.7
3 学修	
(1) 入学から修了までの流れについて	P.8
(2) 修了要件について	P.9
(3) 科目の分類と科目一覧表について	P.10
(4) 先進実践学環学位プログラム以外の授業科目の履修について	P.21
(5) 社会人学生について	P.21
4 教務関係諸手続	
(1) 先進実践学環からの諸連絡、諸手続きにかかる申請書類等について	P.22
(2) 休学・復学・退学について	P.22
(3) 諸届出について	P.23
(4) 証明書の発行について	P.24
(5) 授業料の徴収について	P.24
5 専任教員一覧	P.25
6 横浜国立大学大学院先進実践学環規則	P.28

令和5年度(2023年度) 学事暦

学期・ターム・月		日	月	火	水	木	金	土	
春学期	第1ターム	4月						1	4/4(火)入学式 4/5(水)英語プレシメントテスト(1年生のみ) 4/7(金)～8/4(金)春学期(セメスター科目) 4/7(金)～6/8(木)春学期前半(第1ターム科目) 4/7(金)～4/20(木)履修登録期間(土日除く) 5/1(月)、5/2(火)は授業を行わない 5/8(月)～5/10(水)履修登録確認・訂正期間 5/15(月)～5/19(金)履修登録キャンセル期間 5/15(月)～5/19(金)補講週間 5/20(土)～5/21(日)清陵祭(5/20(土)は準備を含む) 6/2(金)～6/8(木)第1ターム試験期間 (セメスター科目は通常授業) 6/9(金)～8/4(金)春学期後半(第2ターム科目) 6/26(月)～6/30(金)履修登録キャンセル期間 (第2ターム科目) 7/10(月)～7/14(金)補講週間 7/17(月)は授業を行う(祝休日開講日) 7/28(金)～8/4(金)春学期・第2ターム試験期間 (8/4(金)は試験の予備日) 8/5(土)～9/30(土)夏季休業期間(第3ターム) 試験期間 英語統一テスト・プレシメントテスト 授業振替日 祝日開講日 試験期間(予備日) 9/15(金)秋季卒業式・修了式(予定) 10/4(水)秋季入学式(予定) 10/5(木)～2/9(金)秋学期(セメスター科目) 10/5(木)～12/1(金)秋学期前半(第4ターム科目) 10/5(木)～10/18(水)履修登録期間(土日除く) 10/9(月)は授業を行う(祝休日開講日) 10/23(月)～10/25(水)履修登録確認・訂正期間 11/3(金)～11/5(日)常盤祭(11/3(金)は準備を含む) 11/6(月)～11/10(金)履修登録キャンセル期間 11/6(月)～11/10(金)補講週間 11/27(月)～12/1(金)第4ターム試験期間 (セメスター科目は通常授業) 12/4(月)～2/9(金)秋学期後半(第5ターム科目) 12/11(月)～12/15(金)履修登録キャンセル期間 (第5ターム科目) 12/26(火)は金曜日の授業を行う 12/27(水)～1/3(水)冬季休業期間 1/12(金)～1/14(日)大学入学共通テスト休業日 (1/13(土)及び1/14(日)は大学構内入構不可) 1/15(月)～1/19(金)補講週間 2/1(木)～2/8(木)秋学期・第5ターム試験期間 (2/8(木)は試験の予備日) 2/9(金)英語統一テスト(英語LR)試験日 2/10(土)～3/31(日)春季休業期間(第6ターム) 2/25(日)前期日程試験(大学構内入構規制) 3/12(火)後期日程試験(大学構内入構規制) 3/25(月)卒業式・修了式
			2	3	4	5	6	7	
			9	10	11	12	13	14	
			16	17	18	19	20	21	
			23	24	25	26	27	28	
			30						
	第2ターム	5月		1	2	3	4	5	
			7	8	9	10	11	12	
			14	15	16	17	18	19	
			21	22	23	24	25	26	
			28	29	30	31			
							1	2	
	第3ターム	6月	4	5	6	7	8	9	
			11	12	13	14	15	16	
			18	19	20	21	22	23	
			25	26	27	28	29	30	
								1	
			2	3	4	5	6	7	
秋学期	第4ターム	7月	9	10	11	12	13	14	
			16	17	18	19	20	21	
			23	24	25	26	27	28	
			30	31					
					1	2	3	4	
	第5ターム	8月	6	7	8	9	10	11	
			13	14	15	16	17	18	
			20	21	22	23	24	25	
			27	28	29	30	31		
								1	
			3	4	5	6	7	8	
	第6ターム	9月	10	11	12	13	14	15	
			17	18	19	20	21	22	
			24	25	26	27	28	29	
			30						
	第1ターム	10月	1	2	3	4	5	6	
			8	9	10	11	12	13	
			15	16	17	18	19	20	
			22	23	24	25	26	27	
			29	30	31				
	第2ターム	11月				1	2	3	
			5	6	7	8	9	10	
			12	13	14	15	16	17	
			19	20	21	22	23	24	
			26	27	28	29	30		
	第3ターム	12月						1	
			3	4	5	6	7	8	
			10	11	12	13	14	15	
			17	18	19	20	21	22	
			24	25	26	27	28	29	
			31						
	第4ターム	1月		1	2	3	4	5	
			7	8	9	10	11	12	
			14	15	16	17	18	19	
			21	22	23	24	25	26	
			28	29	30	31			
	第5ターム	2月					1	2	
			4	5	6	7	8	9	
			11	12	13	14	15	16	
			18	19	20	21	22	23	
			25	26	27	28	29		
	第6ターム	3月						1	
			3	4	5	6	7	8	
			10	11	12	13	14	15	
			17	18	19	20	21	22	
			24	25	26	27	28	29	
			31						

1 大学院先進実践学環の概要

(1) 大学院先進実践学環の目的と養成する人材像について

「Society5.0」を構築するためには、超スマート化を実現する技術的な視点だけでは事足りず、社会を構成する人間の活動を科学的、体系的に理解できる文理融合・異分野融合の視点を持った人材が必要とされている。これに応えるため、文理融合教育を更に推進し、「社会を構成する人間の理解」と「先進的な数理・データサイエンスの技法」を基軸に本学のすべての教育研究分野を融合し、Society 5.0 における新たな価値とサービスの創出・普及の場面で実践的に活躍できる人材を養成することを当学環の目的とする。

しかし、そのような人材を養成し、Society 5.0 の構築・維持・発展に資する研究成果を創出するためには、従来のように、決められた固定的なカリキュラムの中で履修を進めるだけでは十分ではないと思われる。なぜなら、Society 5.0 は近未来に登場するとされる超スマート社会であるが、AI やデジタル技術によって実現する超スマート社会がどのようなものになるのかは確定しているわけではないからである。現在、Society 5.0 のインフラを構築する技術が発展しつつあるが、今後どのような社会が構築され、人々の生活はどのように変わり、どのような文化活動が展開されるのかも既知のものとなっているわけではないからである。したがって、Society 5.0 の構築や普及の様々な場面で活躍すると期待される人材は、近未来の超スマート社会が抱えることになる諸課題を自ら予見し、その解決策を探る能力や、課題を抱える者と解決策を持つ者をつなぎ、新しい価値観やサービスを生み出すことのできる能力を備えているべきである。

そこで当学環では、そうした能力を育成し、それを発揮して1つの研究成果を創出する実践ができるように、本学がこれまで培ってきた知識の総体から必要な知識を探索し統合するという学修スタイルの修士学位プログラムを設置し、数理・データサイエンスなどに関する体系的な素養を身に付け、社会科学的な知識を体得し、Society 5.0 の構築や普及の様々な場面で活躍する人材を養成する。

(2) カリキュラムポリシーについて

上記の目標を実現するために、当学環ではカリキュラムポリシーを次のとおり定めている。

「人間の理解と先端的な数理・データサイエンスの技法に関する知識を得るために、学環共通科目において必要な知識を修得する。専門教育科目として12の広域な授業群を提供し、学生はこれらの授業群の中から自身の研究テーマの探求に必要な知識を自ら探索して履修する。なお、未履修分野がある場合は、プレレキジット科目によって未履修分野の基礎を補強する。責任指導教員1名と分野の異なる副指導教員1名の2名からなる「指導教員グループ」による集団指導体制のもとで学位の取得を目指し、演習やワークショップを通して知識の統合を実践して、Society 5.0 に関わる課題を自ら設定し、その解決や提言に向けた研究を行う。」

(3) 研究テーマについて

当学環では、専門分野を深掘りするのではなく、近未来の超スマート社会における課題を念頭に研究テーマを設定し、その課題の理解を促し、視野を広げ、認識を深めるために必要な知識や、課題解決に活用できそうな先端技術、エビデンス構築のためのデータや情報処理の方法などを、全学から提供される授業群の中から探索し、受講することで、知識の統合を図り、1つの大きな知見にまとめ上げていくという研究活動を行う。

具体的な研究テーマは学生と指導教員グループによって決定されるが、Society 5.0 の構築・維持・発展に資する研究テーマを大きくくりにして次の7つに集約している。いずれの研究テーマでも、Society 5.0 の構築・維持・発展に資する課題を発見し、その解決を目指す研究を行うが、おおむね次のような学修を想定している。各学生は、複数の教員からなる指導教員グループによる研究指導の下、それぞれの研究テーマにて文理融合・異分野融合的な学修を進める。

研究テーマ	学修の概要
<u>応用 AI</u> AI 技術を中心に IoT、情報システムなどの先端的な技術に関する広い知識を備え、社会や産業界の現場における応用を発案できる人材を養成する。	AI を解析する上で必要な数理的な手法を学び、AI の原理に基づいて AI がどのような事柄に対して活用できるものなのかを理解する。その一方で、広く様々な分野で AI が活用されている事例を知り、企業や自治体などの具体的な場面に AI を導入するためには何をすべきかを明らかにし、導入の効用と課題を理解するとともに、AI と人や社会との関わりについても考察する。以上のことを踏まえて、たとえば、特定の企業を分析して、そこで活用できる AI 技術を提案し、導入による具体的な効用を明らかにし、その限界や課題について解明を試みる研究を行う。
<u>社会データサイエンス</u> 高度な情報・統計処理能力に基づいて、経済、経営、法律のいずれかの分野で現実の社会経済課題に対する解決策を提案できる人材を養成する。	情報処理や数理的なデータ分析や統計学の手法を学び、データサイエンスが活用される様々な分野について理解する。その一方で、経済学、経営学、法律学などの社会科学に対する高い専門性を修得し、社会的な事象に対して分析することのできるデータサイエンティストとして技量を磨く。その上で、膨大な顧客情報を活用して多様化する顧客のニーズへの対応を模索する企業やビッグデータを活用して政策立案しようとする官公庁など、具体的な場面における課題を探索し、データサイエンスを活用してその解決を試みる研究を行う。
<u>リスク共生学</u> 本学を貫く「リスク共生」の理念を習熟し、環境や社会における安心・安全を確保し、持続可能な社会の構築に貢献できる人材を養成する。 ※リスク共生：リスクとは回避するものではなく、それを受け止めてどう対処するかを想定して生きていくという考えであり、本学の先端科学高等研究院の共通理念となっている。	自然環境、産業、都市におけるリスクのあり方とその対処方法に対する専門的な知見を学ぶ。その一方で、企業や自治体におけるリスクマネジメントの方法や、人やコミュニティにおけるリスクの社会学的な理解や医療との関わりなど、幅広い視点で環境や社会における安心・安全の在り方を学ぶ。それに加え、リスクを解析し、評価する上で必要な数理統計やビッグデータの解析手法を修得する。以上のことを踏まえて、たとえば、Society 5.0 において想定されるリスクやその対処方法を探索し、ビッグデータを活用した対応策の社会実装を提案するような研究を行う。
<u>国際ガバナンス</u> 途上国・新興国開発や海事関連の幅広い知識と理論の実践に向けた行動力を兼ね備えたスペシャリストを養成する。	個別の国のレベルでは解決困難な地球規模の課題に対応するために、国際公共財をめぐるグローバルな規範やルール形成方法を学び、海事関連の事業や新興国・途上国の開発のあり方を知るとともに、地球規模のビッグデータを解析するための数理・データサイエンスの手法を修得する。それらを踏まえて、グローバル・レベルとローカル・レベルに視野を拡大させ、具体的な政策立案や政策イノベーションの創出を試み、その効用と課題を明らかにするような研究を行う。
<u>成熟社会</u> 「成熟」していく地域社会で急激な変化に伴い生じる課題に対し、エビデンスに基づいた現実的で新しい法政策を考案できる想像・創造力をもつ人材を養成する。	成長を遂げ「成熟」していく地域社会において起こっている急激な変化を知り、そこで生じる課題を法学的な素養を土台にして理解する。それに加えて、数理・データサイエンスを学び、課題解決のためのエビデンス形成をする手法を修得する。それらを踏まえて、個人や社会の多様性を尊重する成熟社会を実現するためのエビデンスに基づいた新しい法政策を提言し、人生百年時代に備えた環境づくりや社会制度の整備に資するような研究を行う。
<u>人間力創生</u> 多様で複雑なアーカイブ群を統合的に活用する人間固有の能力（感性、論理性）を高め、人間の文化的営みに新たな知や価値を創発できる人材を養成する。	古典から現代に至る芸術活動をいかにしてデジタルアーカイブするか、AI を活用した新たな芸術を生み出せるかなどを念頭に、人間固有の能力（論理性・感性）が発揮されることで実現されている様々な場面や活動について学ぶとともに、文化的営みとの関わりについて考察し、人間固有の能力を高めることの意義と課題を探索する。これらに加えて、多様で複雑なアーカイブ情報を解析する上で必要な数理・統計的な手法を修得する。以上のことを踏まえて、Society 5.0 が直面する諸課題を分析して、誰もが快適な生活を送れる人間中心の社会の実現に資する新たな知や価値を創発する研究を行う。

研究テーマ	学修の概要
横浜アーバニスト 今日的な先端技術を都市科学的な研究・社会貢献に取り入れ、都市の持続的発展と社会的課題の解決を両立していくことに貢献できる人材を養成する。	都市を舞台に社会実装を実現すべく、都市科学に関する基本的理念・概念を身に付けた上で、都市科学の専門技術に関わる応用的な手法を学び、都市を動かしていくためにはどのようなアプローチをすべきか理解する。そのために、現場を重視した地域連携や地域実装のための演習・プロジェクトにも携わり、都市実装の実践的課題を体感するとともに、AI 技術やデータサイエンス手法も学ぶことで、社会実装に向けたエビデンスやデータ活用、情報活用についても理解し、現場と情報の双方を扱うことで高度でクリエイティブな都市科学研究を行い、これを社会で活用できるアーバニストを目指す。

(4) 12 の授業群について

当学環では、学ぶべき事柄が固定的に設定されているのではなく、全学で開設している授業群を基にカリキュラムが体系化されている。特に、専門講義科目は既設の大学院で提供されている講義科目から選出した科目で構成されており、以下のように 12 の授業群（理工系 3 つ、文理融合系 4 つ、人文社会系 5 つ）に分類されている。各学生は、自身の研究テーマの特性に合わせて定められた履修条件を守りつつ、文理融合・異分野融合につながるように、これらの中から自身の研究に必要な科目をバランスよく選択して履修する。なお、どの研究テーマであっても、授業群「数理・統計学」の授業科目を履修し、数理・データサイエンスの技法を学ぶことが推奨されている。

12 の授業群

- AI・情報学：先端的な AI や情報技術にどのようなものがあるかを知る。
- 数理・統計学：データサイエンスを支える数学や統計学の基礎を知る。
- 医工連携：工学的技術や情報技術が医療などにどのように応用されるかを知る。
- 環境学：主に自然環境を理解し、自然災害や持続可能な環境の構築方法を知る。
- 安心安全の科学：生活、社会、産業などに潜むリスクを知り、安心安全を設計する。
- 統合海洋学：海洋全般に関する多様な「知」を社会貢献、地域連携に活用する。
- 都市科学：都市を担う人間に関連する文化・社会・構造物の諸課題を知る。
- 経済経営：経済学、経営学の視点から企業経営や産業のあり方を知る。
- 国際関係：国際情勢や異文化理解に関する知見を深め、それに関わる課題を知る。
- ビジネス法務：日常生活や企業のコンプライアンスに関する法学的な知見を深める。
- 人間文化：人間固有の能力を探究し、社会や文化活動に関する知見を深める。
- 地域連携：地域社会における課題を知り、地域創生のあり方について知見を深める。

(5) 授与する学位について

人間や社会のあり様について広く認識するとともに、先端的な数理・データサイエンスや情報技術に関する知識を備え、各自の研究テーマに必要な専門知識を修得して Society 5.0 の構築・維持・発展に資する研究成果を創出し、修士論文にまとめ、最終試験に合格した者に **修士（学術）** の学位を授与する。

(6) 学修証明書について

研究テーマごとに指定された条件を満たすように授業を履修し、先に述べたような学修を行った者に対し、それぞれが学修した「研究テーマ」を証明するための学修証明書を授与する。（ここで言う学修は、講義の履修にとどまらず、修士の学位を取得することを念頭に置いた研究指導科目（演習）の受講も指している。）

なお、この学修証明書は修士論文にまとめられた研究成果と関連するものの、学位記とは別に授与されるものである。したがって、取得要件（3（2）〔学修証明書の取得要件〕を参照のこと。）を満たすならば、複数の研究テーマに対する学修証明書を取得することもできる。複数の「研究テーマ」に対する学修証明書の取得を希望する場合は、所定の様式で申請すること。様式等は授業支援システムに掲載されているので、各自ダウンロードすること。

2 履修手続

(1) 授業について

① 2 学期 6 ターム制について

本学では 2 学期 6 ターム制を導入している。下図のように、1 年を 2 カ月ごとに区分して「ターム」と呼び、3 タームで 1 学期（春学期及び秋学期）を構成する。

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
第 1 ターム		第 2 ターム		第 3 ターム		第 4 ターム		第 5 ターム		第 6 ターム	
春学期						秋学期					

② 授業科目の開講形態及び単位数

当学環の開講科目は、原則、1 ターム（8 週の授業）で 1 単位となっており、通常の講義科目については第 1 ターム又は第 4 タームに開講される「Ⅰ」を入門編、第 2 ターム又は第 5 タームに開講される「Ⅱ」を上級編と位置付けている。Ⅰ（入門編）とⅡ（上級編）で構成される科目については、入門編だけを履修する、入門編と上級編を連続して履修する、入門編と上級編とを年度をまたいで履修するなど、自分のこれまでの履修状況や専門性に合わせて、いろいろな形態の履修が可能となっている。

ただし、講義内容的にⅠとⅡに分離することが困難なため第 1～第 2 ターム又は第 4～第 5 タームを通して実施する授業科目や、1 タームで完結する授業科目も存在するので、シラバス（学務情報システムから閲覧可能）で授業科目の詳細をよく確認すること。

また、時間割表は授業支援システムに掲載しているので、適宜確認すること。

学務情報システム

[https://www.ynu.ac.jp/campus/
student_only/affairs_system.html](https://www.ynu.ac.jp/campus/student_only/affairs_system.html)



授業支援システム

<https://lms.ynu.ac.jp/>



(2) 履修登録について

① 履修登録手続き

授業科目を履修する場合は、指定された履修登録期間に、必ず WEB（学務情報システム）にて履修登録をしなければならない。また、履修登録完了後に、登録した科目の履修を取りやめる場合は、履修キャンセル期間に学務情報システムで履修キャンセルする必要がある。

(i) 履修登録期間

春学期：4 月 7 日（金）～4 月 20 日（木）

秋学期：10 月 5 日（木）～10 月 18 日（水）

(ii) 履修登録確認訂正期間

春学期：5 月 8 日（月）～5 月 10 日（水）

秋学期：10 月 23 日（月）～10 月 25 日（水）

※登録漏れ・登録ミスがないか必ず確認し、必要に応じ適宜訂正（追加・キャンセル）すること。

※(i)履修登録期間に 1 科目も登録していない場合には、この期間に追加登録を行うことはできない。

(iii) 履修キャンセル期間

春学期：5 月 15 日（月）～5 月 19 日（金）

秋学期：11 月 6 日（月）～11 月 10 日（金）

（第 2 ターム科目：6 月 26 日（月）～6 月 30 日（金） 第 5 ターム科目：12 月 11 日（月）～12 月 15 日（金））

※この期間は履修キャンセルのみ可能。新たに履修登録することはできない。

②履修上の一般的注意

- (i) 履修しようとする授業科目は、指定された期日までに履修登録をしなければならない。また、一度届け出た授業科目は、原則として変更できない。
- (ii) 履修登録をしていない授業科目は、受講できない。
- (iii) 同一曜日・時限に2科目以上を履修することはできない。
- (iv) すでに単位を修得した授業科目を再履修することはできない。

(3) 試験について

- ①試験期間は学事暦のとおりとする。
- ②授業科目の試験は、原則として授業時間割表に定められた曜日・時限に行う。
- ③受験の際は次の事項に注意すること。
 - (i) 受験の際は学生証を机上に掲示すること。
 - (ii) 受験中の不正行為は、大学院学則第24条により懲戒処分とする。

(4) 学業成績について

学業成績は、試験の成績、レポートなどを考慮して決定される。成績評価には、下記表のとおり5段階の成績評価グレード(秀・優・良・可・不可)を用い、「可」以上を修得すると、所定の単位が付与される。成績が「不可」の科目は再履修を行うことができ、再履修を行った場合、成績は再履修後のものが採用される。

GPA (Grade Point Average) は、履修した個々の科目に対して成績評価(評価点)に応じた Grade Point (GP)を与え、下記の式によって算出する。なお、再履修科目の単位数はGPAの分母には加算されない。

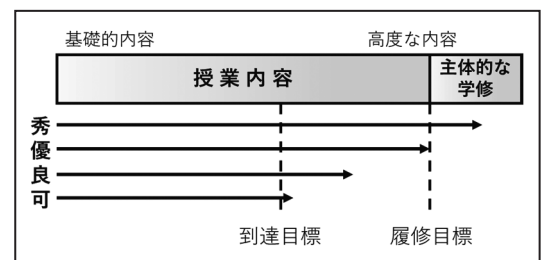
春学期の成績は10月上旬に、秋学期の成績は翌年度の4月上旬に学務情報システムで閲覧可能となる。

成績表記	評価点	GP	可否
秀	100～90	4.5	合格
優	89～80	4	
良	79～70	3	
可	69～60	2	
不可	59～0	0	不合格

$$GPA = \frac{\Sigma (GP \times \text{単位数})}{\text{履修登録単位数}}$$

※ 成績評価の基準

- 秀：履修目標を超えたレベルを達成している。
- 優：履修目標を達成している。
- 良：履修目標と到達目標の間にあるレベルを達成している。
- 可：到達目標を達成している。
- 不可：到達目標を達成できていない。



※ 単位認定された科目(3(4)②を参照。)の成績表記は「認定」となり、GPA計算の対象から除外する。

※ 科目の履修や成績に関して不明な点がある場合には、先進実践学環係(学生センター3階)へ問い合わせること。

※ 先進実践学環開講科目の成績評価について問い合わせがある場合は、該当科目の成績が学務情報システムで開示されてから原則8日以内(具体的な日程は、期ごとに授業支援システムで周知する。)に先進実践学環係へ所定の様式で申し出ること。様式は授業支援システムに掲載されているので、各自ダウンロードすること。

3 学修

(1) 入学から修了までの流れについて

①指導教員グループ

入学直後に、責任指導教員と履修する研究テーマを決定する。責任指導教員は、学生の入学前の勉学内容と入学後の研究計画を考慮して、当学環を担当する教員（責任指導教員と研究分野の異なる教員）の中から副指導教員1名を決定する。この2名の教員で指導教員グループを構成し、修士論文の執筆、学位取得に至るまで学生の研究指導にあたる。

履修計画を立てる際には、自身の研究テーマの特性に合わせて定められた履修条件を守りつつ、文理融合・異分野融合につながるように、指導教員グループと十分に相談して履修科目を設定すること。

②研究計画

当学環では、修士論文を作成し、論文審査及び最終試験に合格する必要がある。修士論文執筆に向け研究を順調に展開できるようにするため、各学年の初めに、指導教員グループの研究指導計画書を踏まえ、研究計画書を作成する。様式及び作成要領は授業支援システムに掲載されているので、各自ダウンロードすること。

当学環での学修の流れ（標準修業年限の場合）を以下に示す。

1 年 次	第1ターム	4月 入学 研究テーマ、責任指導教員、副指導教員の決定（指導教員グループの発足） - 指導教員グループと相談のうえ履修計画を立て、授業を履修する - 「研究指導計画書・研究計画書」により、指導教員グループの指導を開始
	第2ターム	指導教員グループによる研究指導 - 研究の方法論、先行研究の整理の仕方について指導を受ける - 研究テーマ、研究計画の妥当性について確認・指導を受ける
	第3ターム	海外の連携大学とのSV・SS・遠隔授業参加など（研究計画に応じて実施する）
	第4ターム	指導教員グループによる研究指導 - 先行研究の整理の確認・指導、仮説構築・検証の方法について指導を受ける
	第5ターム	指導教員グループによる研究指導 - 研究成果に説得力を持たせるための論理構成や表現方法について指導を受ける 12月 ワークショップⅠ
	第6ターム	インターンシップ、英語研修など（研究計画に応じて実施する）
2 年 次	第1ターム	指導教員グループによる履修指導 - 研究内容と進捗度に応じて履修科目を決定し、その授業を履修する 指導教員グループによる研究指導 - 「研究指導計画書・研究計画書」により、指導教員グループの指導を - 修士論文の構成について指導を受ける
	第2ターム	指導教員グループによる研究指導 - 修士論文の未完成部分について、どのように行うのか指導を受ける
	第3ターム	海外インターンシップなど（研究計画に応じて実施する）
	第4ターム	指導教員グループによる研究指導 - 修士論文全体の論理展開や表現方法について指導を受ける 10月 ワークショップⅡ 11月 修士論文審査申請
	第5ターム	指導教員グループによる研究指導 - これまでの指導の成果を踏まえ、修士論文を完成させる。 1月 修士論文提出
	第6ターム	1月～2月 修士論文審査及び最終試験 - 研究成果と履修科目の修得単位から学位授与を決定する。 2月 修士論文発表会 3月 修了式

② 修了要件について

① 修了に必要な単位数および GPA

下記履修基準に示す条件を満たすように授業を履修して合計 30 単位を修得し、GPA が 2.0 以上であり、修士論文審査および最終試験に合格することを修了要件とする。

ただし、専門教育科目の履修にあたっては、研究テーマごとに定められた条件を満たすように履修をし、1 つ以上の「学修証明書」を取得する必要がある。

[履修基準]

科目		修得必要単位数
学環共通科目		3 単位以上 (*)
プレレジット科目		4 単位以下
専門教育科目	専門講義科目	12 単位以上 (**)
	演習	4 単位以上 (***)
	ワークショップ	1 単位以上
	学外演習科目	0 単位以上
合計		30 単位 (GPA 2.0 以上)

[学修証明書の取得要件]

研究テーマ \ 授業群	AI・情報学	数理・統計学	医工連携	環境学	安心安全の科学	統合海洋学	都市科学	経済経営	国際関係	ビジネス法務	人間文化	地域連携
応用 AI	◎	◎	○				○	○			○	
社会データサイエンス	○	◎					○	◎	○	○		
リスク共生学		○		◎	◎	○	○			○		
国際ガバナンス		○		○		○		○	◎			◎
成熟社会		○	○				○	○		◎	◎	
人間力創生	○	○			○		○				◎	◎
横浜アーバンリスト		○		○	○		◎				○	◎

* : 学環共通科目は、両分野（人間学通論、IT 技法通論）をそれぞれ 1 単位以上履修すること。

** : 専門講義科目は、左表の自身の研究テーマの行にある「◎」の授業群のそれぞれから 2 単位以上、合計 8 単位以上、「○」の授業群の何れかから 1 単位以上を修得すること。

*** : 演習は、学修証明書を得ようとする研究テーマの演習を 2 単位以上修得すること。

② 在籍年数

当学環に 2 年以上在学することが必要である。ただし、優れた研究業績を上げた者で、教授会の議を経て学環長が認めた者は、1 年以上在学していれば修了可能とする。

③ 修士論文の評価基準

修士論文は次の 4 つの観点により評価する。

- ・専門知識の理解度：当該研究領域における関連研究の現状や研究テーマに関連する専門知識を理解しているか。
- ・研究方法の妥当性：課題の設定およびそれを解決するための方法論の選択や、仮説構築・検証方法などは妥当か。
- ・研究成果の独創性：関連研究と比較して、新規性があり、当該分野の発展に貢献する研究成果が得られているか。
- ・論文の構成・表現の適切性：上記 3 点を第三者が適切に評価できるように論文が構成されており、適切に表現されているか。

(3) 科目の分類と科目一覧表について

①科目の分類

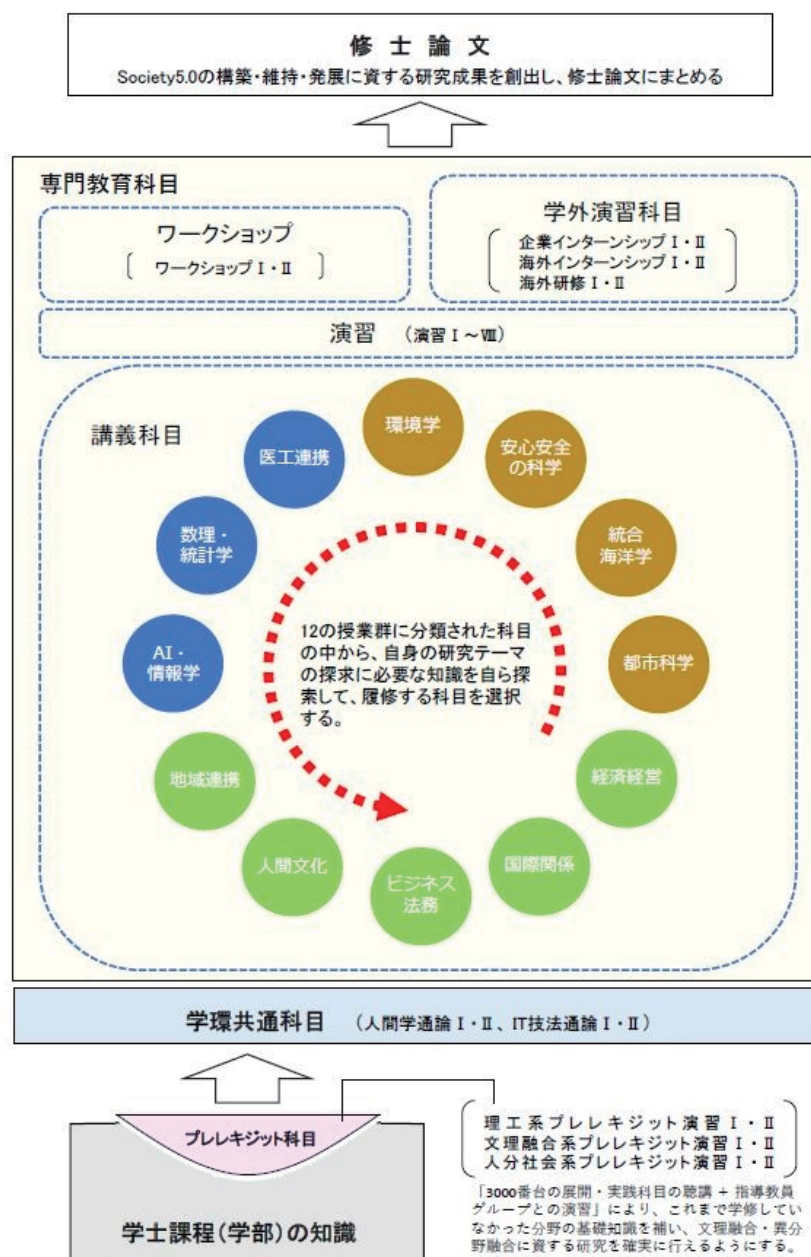
科目分類	概要
学環共通科目	人間の理解と先端的なデータサイエンスの技法を知るために、多くの教員によりオムニバス形式で提供される講義群。
ブレレジット科目	入学以前に学んでいなかった分野の基礎的な知識を得るための演習科目。指導教員と相談の上、必要に応じ本学が提供する「ナンバリングコードが3000番台以下の科目*」の中から選択して聴講する。それに加え、その授業とは別の時間帯に、聴講した授業の内容を指導教員グループとともに総括し、自身の研究に活用するための演習を行う。
専門教育科目	専門講義科目 全学の授業科目から選出した講義科目からなり、12の授業群に分類されている。研究テーマごとに定められた履修条件を守りつつ、自身の研究テーマの探究に必要な知識を自ら探索し、文理融合・異分野融合につながるよう、バランス良く履修すること。 なお、どの研究テーマであっても、「数理・統計学」に分類されている授業を履修し、数理・データサイエンスの技法を学ぶことを推奨している。
	演習 研究課題の創出・解決手法の探求などを学び、学位プログラムにふさわしい知見を得るための科目。
	ワークショップ 研究成果についてのプレゼンテーション。中間発表会に相当する。研究テーマの枠を超えて、学位プログラム全体で発表会を行い、研究の進捗と文理融合・異分野融合の視点が十分であるかを相互に確認し合う。
	学外演習科目 国内外の企業や自治体などでインターンシップ等を行い、社会実装の現場を体験する。その活動に対して単位を認定する。履修方法は別途案内を参照のこと。

*:学部の授業科目に相当する。科目ナンバリングの詳細は、『大学院YNU initiative』の17～18ページを参照すること。

https://www.ynu.ac.jp/education/plan/initiative_g.html



②カリキュラムツリー



③科目一覧表

<学環共通科目>

科目分類	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考
学環共通科目	UA00100	人間学通論Ⅰ	多和田 雅保, ほか	1	1～2	日本語・英語	オムニバス
	UA00200	人間学通論Ⅱ	大雄 智, ほか	1	1～2	日本語・英語	オムニバス
	UA00300	IT技法通論Ⅰ	岡嶋 克典, ほか	1	1～2	日本語・英語	オムニバス
	UA00400	IT技法通論Ⅱ	中本 敦浩, ほか	1	1～2	日本語・英語	オムニバス

<プレレキジット科目>

科目分類	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考
プレレキジット科目	UB00101/ UB00104	理工系プレレキジット演習Ⅰ	各指導教員グループ	1	1～2	-	時間割コードの 末尾が「1」「2」 →春学期に履修登録可能 末尾が「4」「5」 →秋学期に履修登録可能 各科目とも、どちらか一方のみ 履修可能。
	UB00202/ UB00205	理工系プレレキジット演習Ⅱ	各指導教員グループ	1	1～2	-	
	UB00301/ UB00304	文理融合系プレレキジット演習Ⅰ	各指導教員グループ	1	1～2	-	
	UB00402/ UB00405	文理融合系プレレキジット演習Ⅱ	各指導教員グループ	1	1～2	-	
	UB00501/ UB00504	人文社会系プレレキジット演習Ⅰ	各指導教員グループ	1	1～2	-	
	UB00602/ UB00605	人文社会系プレレキジット演習Ⅱ	各指導教員グループ	1	1～2	-	

<専門教育科目>

科目分類		時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考	
専門教育科目	講義科目	AⅠ・情報学	UC01001	知能ロボットエージェントⅠ	前田 雄介	1	1～2	英語	
			UC01002	知能ロボットエージェントⅡ	前田 雄介	1	1～2	英語	
			UC01003	メカトロニクスデザインⅠ	佐藤 恭一	1	1～2	英語	
			UC01004	メカトロニクスデザインⅡ	佐藤 恭一	1	1～2	英語	
			UC01005	アドバンスト ロボティクスⅠ	杉内 肇	1	1～2	英語	
			UC01006	アドバンスト ロボティクスⅡ	杉内 肇	1	1～2	英語	
			UC01007	知能システム論	濱上 知樹	2	1～2	英語	
			UC01008	離散システム特論	藤本 康孝	2	1～2	英語	
			UC01009	理論言語学基盤論Ⅰ	藤井 友比呂	1	1～2	英語	
			UC01010	理論言語学基盤論Ⅱ	藤井 友比呂	1	1～2	英語	
			UC01011	理論言語学特論Ⅰ	藤井 友比呂	1	1～2	英語	
			UC01012	理論言語学特論Ⅱ	藤井 友比呂	1	1～2	英語	
			UC01013	デジタルメディアのしくみⅠ	市毛 弘一	1	1～2	英語	
			UC01014	デジタルメディアのしくみⅡ	市毛 弘一	1	1～2	英語	
			UC01015	セキュリティ情報学Ⅰ	四方 順司, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01016	セキュリティ情報学Ⅱ	吉岡 克成, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01017	セキュリティ情報学応用	松本 勉, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01018	マルチメディア情報学Ⅰ	富井 尚志, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01019	マルチメディア情報学Ⅱ	富井 尚志, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01020	言語情報応用論	森 辰則	1	1～2	日本語	
			UC01021	言語情報処理基礎論	森 辰則	1	1～2	日本語	
			UC01022	最適化と探索Ⅰ	長尾 智晴, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01023	最適化と探索Ⅱ	長尾 智晴, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01024	人工知能特論Ⅰ	白川 真一, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01025	人工知能特論Ⅱ	白川 真一, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01026	人間情報処理Ⅰ	岡嶋 克典, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01027	人間情報処理Ⅱ	岡嶋 克典, ほか	1	1～2	日本語	
			UC01028	英語学講義	田中 秀毅	1	1～2	日本語	
			UC01029	対照言語学講義	田中 秀毅	1	1～2	日本語	
			UC01030	先端半導体製造特論	井上 史大	2	1～2	英語	
			UC01031	アクチュエータ設計論	瀧脇 大海	2	1～2	英語	

科目分類		時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考	
専門教育科目	講義科目	数理・統計学	UC02001	経済統計Ⅰ	田原 慎二	1	1～2	日本語	
			UC02002	経済統計Ⅱ	田原 慎二	1	1～2	日本語	
			UC02003	経済統計特論	-	2	1～2	日本語	休講
			UC02004	数理統計学Ⅰ	永井 圭二	1	1～2	日本語	
			UC02005	数理統計学Ⅱ	永井 圭二	1	1～2	日本語	
			UC02006	数理統計学特論	永井 圭二	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC02010	マイクロデータサイエンスⅠ	古川 知志雄	1	1～2	日本語	
			UC02011	マイクロデータサイエンスⅡ	古川 知志雄	1	1～2	日本語	
			UC02012	マクロデータサイエンスⅠ	相馬 尚人	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC02013	マクロデータサイエンスⅡ	相馬 尚人	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC02014	応用マイクロ計量分析特論	鶴岡 昌徳	2	1～2	日本語	
			UC02015	経営科学特論Ⅰ	郭 沛俊	1	1～2	日本語	
			UC02016	経営科学特論Ⅱ	郭 沛俊	1	1～2	日本語	
			UC02017	計量分析特論Ⅰ	五島 圭一	1	1～2	英語	
			UC02018	計量分析特論Ⅱ	五島 圭一	1	1～2	英語	
			UC02019	経営シミュレーション特論Ⅰ	田名部 元成	1	1～2	英語	
			UC02020	経営シミュレーション特論Ⅱ	田名部 元成	1	1～2	英語	
			UC02021	経営財務特論	森田 洋	2	1～2	英語	
			UC02022	数値シミュレーションの数理	山田 貴博,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02023	数理アルゴリズム特論	四方 順司	1	1～2	日本語	
			UC02024	数理解析モデリングⅠ	松井 和己,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02025	数理解析モデリングⅡ	松井 和己,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02026	数理物理シミュレーション特論Ⅰ	白崎 実	1	1～2	日本語	
			UC02027	数理物理シミュレーション特論Ⅱ	白崎 実	1	1～2	日本語	
			UC02028	物理モデリングの数理	山田 貴博,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02029	情報数学特論Ⅰ	中本 敦浩,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02030	情報数学特論Ⅱ	野間 淳,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02031	情報数学特論Ⅲ	牛越 恵理佳,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02032	情報数学特論Ⅳ	瀬川 悦生	1	1～2	日本語	
			UC02033	トポロジー特論Ⅰ	野崎 雄太	1	1～2	日本語	
			UC02034	トポロジー特論Ⅱ	野崎 雄太	1	1～2	日本語	
			UC02035	解析学特論Ⅰ	牛越 恵理佳	1	1～2	日本語	
			UC02036	解析学特論Ⅱ	牛越 恵理佳	1	1～2	日本語	
			UC02037	数理情報特論Ⅰ	小関 健太,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02038	数理情報特論Ⅱ	小関 健太,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02039	代数学特論Ⅰ	原下 秀士,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02040	代数学特論Ⅱ	原下 秀士,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02041	代数幾何学特論Ⅰ	野間 淳,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02042	代数幾何学特論Ⅱ	野間 淳,ほか	1	1～2	日本語	
			UC02043	離散数学特論Ⅰ	中本 敦浩	1	1～2	日本語	
			UC02044	離散数学特論Ⅱ	中本 敦浩	1	1～2	日本語	
			UC02045	量子アルゴリズム特論Ⅰ	瀬川 悦生	1	1～2	日本語	
			UC02046	量子アルゴリズム特論Ⅱ	瀬川 悦生	1	1～2	日本語	
			UC02047	社会の中の数理Ⅰ	茨木 貴徳	1	1～2	日本語	
			UC02048	社会の中の数理Ⅱ	茨木 貴徳	1	1～2	日本語	
			UC02049	幾何学特論Ⅰ	山形 紗恵子	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC02050	幾何学特論Ⅱ	山形 紗恵子	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC02052	教育調査統計の社会学Ⅰ	新谷 康浩	1	1～2	日本語	
			UC02053	教育調査統計の社会学Ⅱ	新谷 康浩	1	1～2	日本語	
			UC02056	航空機空力設計論Ⅰ	宮路 幸二	1	1～2	英語	
			UC02057	航空機空力設計論Ⅱ	宮路 幸二	1	1～2	英語	
			UC02058	連続体力学Ⅰ	尾崎 伸吾	1	1～2	英語	
			UC02059	連続体力学Ⅱ	尾崎 伸吾	1	1～2	英語	
			UC02060	マイクロ波工学Ⅰ	久我 宣裕	1	1～2	英語	
			UC02061	マイクロ波工学Ⅱ	久我 宣裕	1	1～2	英語	
			UC02062	経済数学	井田 有紀	2	1～2	日本語	
			UC02063	経済数学特論Ⅰ	井田 有紀	1	1～2	日本語	
			UC02064	経済数学特論Ⅱ	井田 有紀	1	1～2	日本語	

科目分類		時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考
専門教育科目	医工連携	UC03001	サイバーロボティクスⅠ	加藤 龍	1	1～2	英語	
		UC03002	サイバーロボティクスⅡ	加藤 龍	1	1～2	英語	
		UC03003	センシング工学Ⅰ	太田 裕貴	1	1～2	英語	
		UC03004	センシング工学Ⅱ	太田 裕貴	1	1～2	英語	
		UC03005	医工学Ⅰ	飯島 一智	1	1～2	英語	隔年開講（奇数年度）
		UC03006	医工学Ⅱ	飯島 一智	1	1～2	英語	隔年開講（奇数年度）
		UC03007	人間システム工学Ⅰ	島 圭介	1	1～2	英語	
		UC03008	人間システム工学Ⅱ	島 圭介	1	1～2	英語	
		UC03009	航空宇宙利用工学Ⅰ	樋口 丈浩	1	1～2	英語	
		UC03010	航空宇宙利用工学Ⅱ	樋口 丈浩	1	1～2	英語	
		UC03011	ヒューマンセンシング工学	杉本 千佳	2	1～2	英語	隔年開講（奇数年度）
	環境学	UC04001	生態会計特論Ⅰ	曹 勁	1	1～2	日本語	
		UC04002	生態会計特論Ⅱ	曹 勁	1	1～2	日本語	
		UC04003	環境法特論Ⅰ	-	1	1～2	日本語	休講
		UC04004	環境法特論Ⅱ	-	1	1～2	日本語	休講
		UC04005	自然保護法研究Ⅰ	-	1	1～2	日本語	休講
		UC04006	自然保護法研究Ⅱ	-	1	1～2	日本語	休講
		UC04007	Social Systems for Environmental ManagementⅠ	-	1	1～2	英語	休講
		UC04008	Social Systems for Environmental ManagementⅡ	-	1	1～2	英語	休講
		UC04010	自然生態系設計学Ⅱ	小池 文人	1	1～2	日本語	
		UC04011	地球システム科学Ⅰ	石川 正弘	1	1～2	日本語	
		UC04012	地球システム科学Ⅱ	石川 正弘	1	1～2	日本語	
		UC04013	物質・生命と環境	松本 真哉, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04014	知識マネジメントと標準化	安本 雅典	1	1～2	日本語	
		UC04015	イノベーション戦略論	安本 雅典	1	1～2	日本語	
		UC04016	化学物質環境動態解析	小林 剛, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04017	環境化学分析学	亀屋 隆志, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04018	環境材料設計学Ⅰ	荒牧 賢治, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04019	環境材料設計学Ⅱ	荒牧 賢治, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04020	環境材料分析手法Ⅰ	藤井 麻樹子, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04021	環境材料分析手法Ⅱ	藤井 麻樹子, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04023	環境疫学・健康リスク評価方法論	中井 里史	1	1～2	日本語	
		UC04024	環境排出管理学	亀屋 隆志, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04025	生態系評価学Ⅰ	佐々木 雄大	1	1～2	日本語	
		UC04026	生態系評価学Ⅱ	佐々木 雄大	1	1～2	日本語	
		UC04027	外来生物問題を解決するモデルと社会	小池 文人	1	1～2	日本語	
		UC04028	ユネスコエコパークや関連制度を活用した環境共生型地域の創出	酒井 暁子	1	1～2	日本語	
		UC04029	生態学：進化と環境適応	酒井 暁子	1	1～2	日本語	
		UC04030	生態学特別講義	小池 文人, ほか	2	1～2	日本語	オムニバス
		UC04031	土壌生物学Ⅰ	中森 泰三	1	1～2	日本語	
		UC04032	土壌生物学Ⅱ	中森 泰三	1	1～2	日本語	
		UC04033	古生態学Ⅰ	和仁 良二	1	1～2	日本語	
		UC04034	古生態学Ⅱ	和仁 良二	1	1～2	日本語	
		UC04035	地球システム物質循環論Ⅰ	山本 伸次	1	1～2	日本語	
		UC04036	地球システム物質循環論Ⅱ	山本 伸次	1	1～2	日本語	
		UC04037	湖と川の生態学Ⅰ	鏡味 麻衣子	1	1～2	日本語	
		UC04038	湖と川の生態学Ⅱ	鏡味 麻衣子	1	1～2	日本語	
		UC04039	自然環境概論Ⅰ	小池 文人, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04040	自然環境概論Ⅱ	山本 伸次, ほか	1	1～2	日本語	オムニバス
		UC04041	古海洋学	河潟 俊吾	1	1～2	日本語	
		UC04042	気象学	中野 満寿男	1	1～2	日本語	
		UC04043	台風力学	中野 満寿男	1	1～2	日本語	
		UC04044	植物系統分類学	倉田 薫子	1	1～2	日本語	
		UC04045	生物地理学Ⅰ	倉田 薫子	1	1～2	日本語	
		UC04054	植物遺伝子工学Ⅰ	平塚 和之	1	1～2	日本語	
		UC04055	植物遺伝子工学Ⅱ	平塚 和之	1	1～2	日本語	
		UC04056	応用熱流体工学Ⅰ	荒木 拓人	1	1～2	英語	
		UC04057	応用熱流体工学Ⅱ	荒木 拓人	1	1～2	英語	

科目分類	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考
専門教育科目	安心安全の科学	UC05001	化学災害リスク論	三宅 淳巳	1	1～2	日本語
		UC05002	化学反応プロセスのリスク管理Ⅰ	熊崎 美枝子	1	1～2	日本語
		UC05003	化学反応プロセスのリスク管理Ⅱ	熊崎 美枝子	1	1～2	日本語
		UC05004	火災の科学と防火技術Ⅰ	岡 泰資	1	1～2	日本語
		UC05005	火災の科学と防火技術Ⅱ	岡 泰資	1	1～2	日本語
		UC05006	機械システムのリスク評価と制御技術Ⅰ	澁谷 忠弘	1	1～2	日本語
		UC05007	機械システムのリスク評価と制御技術Ⅱ	澁谷 忠弘	1	1～2	日本語
		UC05008	産業災害事故の解析と設備のリスクアセスメントⅠ	笠井 尚哉	1	1～2	日本語
		UC05009	産業災害事故の解析と設備のリスクアセスメントⅡ	笠井 尚哉	1	1～2	日本語
		UC05010	インテリジェント構造システム学	白石 俊彦	1	1～2	日本語
		UC05011	環境ソフトマター科学Ⅰ	-	1	1～2	日本語 R5年度開講なし
		UC05012	環境ソフトマター科学Ⅱ	-	1	1～2	日本語 R5年度開講なし
		UC05013	環境機能物質科学Ⅰ	星野 雄二郎, ほか	1	1～2	日本語
		UC05014	環境機能物質科学Ⅱ	星野 雄二郎, ほか	1	1～2	日本語
		UC05015	環境物理化学Ⅰ	雨宮 隆, ほか	1	1～2	日本語 オムニバス
		UC05016	環境物理化学Ⅱ	雨宮 隆, ほか	1	1～2	日本語 オムニバス
		UC05017	被服環境学Ⅰ	薩本 弥生	1	1～2	日本語
		UC05018	被服環境学Ⅱ	薩本 弥生	1	1～2	日本語
		UC05019	材料と加工	坂本 智	1	1～2	日本語
		UC05020	精密砥粒加工学	坂本 智	1	1～2	日本語
		UC05021	セラミックス材料工学	多々見 純一	1	1～2	英語
		UC05022	粉体材料プロセス工学	飯島 志行	1	1～2	英語
		UC05023	リスクベースによる規則制定手法Ⅰ	吉田 公一, ほか	1	1～2	英語 オムニバス
		UC05024	リスクベースによる規則制定手法Ⅱ	吉田 公一, ほか	1	1～2	英語 オムニバス
		UC05025	破壊強度学	秋庭 義明	2	1～2	英語
		UC05026	マイクロマシン工学	丸尾 昭二	2	1～2	英語
	統合海洋学	UC06001	海事法研究Ⅰ	笹岡 愛美	1	1～2	日本語 隔年開講（奇数年度）
		UC06002	海事法研究Ⅱ	笹岡 愛美	1	1～2	日本語 隔年開講（奇数年度）
		UC06005	波浪と船体運動Ⅰ	平川 嘉昭	1	1～2	英語
		UC06006	波浪と船体運動Ⅱ	平川 嘉昭	1	1～2	英語
		UC06007	船舶設計システム工学論Ⅰ	満行 泰河	1	1～2	英語
		UC06008	船舶設計システム工学論Ⅱ	満行 泰河	1	1～2	英語
		UC06009	浮体運動工学Ⅰ	村井 基彦	1	1～2	英語
		UC06010	浮体運動工学Ⅱ	村井 基彦	1	1～2	英語
		UC06011	乱流工学概論Ⅰ	高木 洋平	1	1～2	英語
		UC06012	乱流工学概論Ⅱ	高木 洋平	1	1～2	英語
		UC06013	海洋資源エネルギー工学入門Ⅰ	西 佳樹	1	1～2	英語
		UC06014	海洋資源エネルギー工学入門Ⅱ	西 佳樹	1	1～2	英語
		UC06015	海洋生物環境学Ⅰ	下出 信次	1	1～2	日本語
		UC06016	海洋生物環境学Ⅱ	下出 信次	1	1～2	日本語
		UC06017	環境法Ⅰ	及川 敬貴	1	1～2	日本語
		UC06018	環境法Ⅱ	及川 敬貴	1	1～2	日本語
		UC06019	海洋地質学	河湯 俊吾	1	1～2	日本語
	都市科学	UC07001	都市環境管理学	小林 剛, ほか	1	1～2	日本語 オムニバス
		UC07002	公共政策論A-Ⅰ	齊藤 麻人	1	1～2	日本語 隔年開講（奇数年度）
		UC07003	公共政策論A-Ⅱ	齊藤 麻人	1	1～2	日本語 隔年開講（奇数年度）
		UC07004	建築環境共生論	田中 稲子	2	1～2	日本語 隔年開講（奇数年度）
		UC07007	都市居住環境論	野原 卓, ほか	2	1～2	日本語
		UC07008	地域創造論	志村 真紀, ほか	2	1～2	日本語
		UC07009	グリーンビルディング・コミュニティ計画論	田中 稲子, ほか	2	1～2	日本語 オムニバス、隔週開講
		UC07010	都市マネジメント	高見沢 実	2	1～2	日本語
		UC07011	地域省エネルギー計画論	-	2	1～2	日本語 隔年開講（偶数年度）
		UC07012	都市デザイン論	野原 卓	2	1～2	日本語 隔年開講（奇数年度）
		UC07013	日本建築保存修復論	大野 敏	2	1～2	日本語 隔年開講（奇数年度）
		UC07014	環境行動論	-	2	1～2	日本語 隔年開講（偶数年度）
		UC07015	市街地創造論	-	2	1～2	日本語 隔年開講（偶数年度）

科目分類		時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考	
専門教育科目	講義科目	都市科学	UC07016	環境心理学	大原 一興	2	1～2	日本語	隔週開講
			UC07017	持続型集住計画論	藤岡 泰寛	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC07018	都市防災計画論	稲垣 景子	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC07019	環境都市デザインスタジオS	野原 卓, ほか	4	1～2	日本語	
			UC07020	環境都市デザインスタジオF	野原 卓, ほか	4	1～2	日本語	
			UC07021	横浜建築都市学S	寺田 真理子	2	1～2	日本語	隔週開講
			UC07022	横浜建築都市学F	寺田 真理子	2	1～2	日本語	隔週開講
			UC07023	都市と芸術	-	2	1～2	日本語	R5年度開講なし
			UC07024	建築理論スタジオS	大野 敏, ほか	4	1～2	日本語	
			UC07025	建築理論スタジオF	大野 敏, ほか	4	1～2	日本語	
			UC07026	都市交通計画論	安部 遼祐	2	1～2	日本語	
			UC07027	現代経済史Ⅰ	出口 雄大	1	1～2	日本語	
			UC07028	現代経済史Ⅱ	出口 雄大	1	1～2	日本語	
			UC07029	現代経済史特論	出口 雄大	2	1～2	日本語	
			UC07030	複合系気候科学Ⅰ	吉田 龍二	1	1～2	日本語	
			UC07031	複合系気候科学Ⅱ	吉田 龍二	1	1～2	日本語	
	講義科目	経済経営	UC08001	ミクロ経済学Ⅰ-Ⅰ	無藤 望	1	1～2	日本語	
			UC08002	ミクロ経済学Ⅰ-Ⅱ	無藤 望	1	1～2	日本語	
			UC08003	ミクロ経済学Ⅱ-Ⅰ	佐野 隆司	1	1～2	日本語	
			UC08004	ミクロ経済学Ⅱ-Ⅱ	佐野 隆司	1	1～2	日本語	
			UC08005	ミクロ経済理論特論	佐野 隆司	2	1～2	日本語	
			UC08006	マクロ経済学Ⅰ-Ⅰ	藤生 源子	1	1～2	日本語	
			UC08007	マクロ経済学Ⅰ-Ⅱ	藤生 源子	1	1～2	日本語	
			UC08008	マクロ経済学Ⅱ-Ⅰ	相馬 尚人	1	1～2	日本語	
			UC08009	マクロ経済学Ⅱ-Ⅱ	相馬 尚人	1	1～2	日本語	
			UC08010	マクロ経済学特論	藤生 源子	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC08011	比較経済システムⅠ	陳 雨婷	1	1～2	日本語	
			UC08012	比較経済システムⅡ	陳 雨婷	1	1～2	日本語	
			UC08013	比較経済システム特論	陳 雨婷	2	1～2	日本語	
			UC08014	経済政策Ⅰ	茂住 政一郎	1	1～2	日本語	
			UC08015	経済政策Ⅱ	茂住 政一郎	1	1～2	日本語	
			UC08016	経済政策特論	茂住 政一郎	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC08017	経済史Ⅰ	石山 幸彦	1	1～2	日本語	
			UC08018	経済史Ⅱ	石山 幸彦	1	1～2	日本語	
			UC08019	経済史特論	石山 幸彦	2	1～2	日本語	
			UC08020	日本経済史Ⅰ	邊 英治	1	1～2	日本語	
			UC08021	日本経済史Ⅱ	邊 英治	1	1～2	日本語	
			UC08022	日本経済史特論	邊 英治	2	1～2	日本語	
			UC08023	金融論Ⅰ	奥村 綱雄	1	1～2	日本語	
			UC08024	金融論Ⅱ	奥村 綱雄	1	1～2	日本語	
UC08025	金融論特論	奥村 綱雄	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）			
UC08026	公共経済学Ⅰ	熊野 太郎	1	1～2	日本語				
UC08027	公共経済学Ⅱ	熊野 太郎	1	1～2	日本語				
UC08028	公共経済学特論	熊野 太郎	2	1～2	日本語				
UC08029	地方財政学Ⅰ	伊集 守直	1	1～2	日本語				
UC08030	地方財政学Ⅱ	伊集 守直	1	1～2	日本語				
UC08031	地方財政学特論	伊集 守直	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）			
UC08032	地域経済政策Ⅰ	居城 琢	1	1～2	日本語				
UC08033	地域経済政策Ⅱ	居城 琢	1	1～2	日本語				
UC08034	地域経済政策特論	居城 琢	2	1～2	日本語				
UC08035	社会福祉政策Ⅰ	余 乾生	1	1～2	日本語				
UC08036	社会福祉政策Ⅱ	余 乾生	1	1～2	日本語				
UC08037	社会福祉政策特論	余 乾生	2	1～2	日本語				
UC08038	農業政策Ⅰ	池島 祥文	1	1～2	日本語				
UC08039	農業政策Ⅱ	池島 祥文	1	1～2	日本語				
UC08040	農業政策特論	池島 祥文	2	1～2	日本語				

科目分類		時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考	
専門教育科目	講義科目	経済経営	UC08041	労働経済学Ⅰ	大森 義明	1	1～2	日本語	
			UC08042	労働経済学Ⅱ	大森 義明	1	1～2	日本語	
			UC08043	産業組織論Ⅰ	鶴岡 昌徳	1	1～2	日本語	
			UC08044	産業組織論Ⅱ	鶴岡 昌徳	1	1～2	日本語	
			UC08045	産業組織論特論	-	2	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC08046	国際金融Ⅰ	西川 輝	1	1～2	日本語	
			UC08047	国際金融Ⅱ	西川 輝	1	1～2	日本語	
			UC08048	国際金融特論	西川 輝	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）R5年度開講なし
			UC08049	外国為替論Ⅰ	-	1	1～2	英語	R5年度開講なし
			UC08050	外国為替論Ⅱ	-	1	1～2	英語	R5年度開講なし
			UC08051	外国為替論特論	-	2	1～2	英語	隔年開講（偶数年度）
			UC08052	国際環境経済Ⅰ	氏川 恵次	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC08053	国際環境経済Ⅱ	氏川 恵次	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC08054	国際環境経済特論	-	2	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC08055	Economic DevelopmentⅠ	氏川 恵次	1	1～2	英語	隔年開講（奇数年度）
			UC08056	Economic DevelopmentⅡ	氏川 恵次	1	1～2	英語	隔年開講（奇数年度）
			UC08057	財務会計特論Ⅰ	木村 晃久	1	1～2	英語	
			UC08058	財務会計特論Ⅱ	木村 晃久	1	1～2	英語	
			UC08059	国際会計特論Ⅰ	高須 悠介	1	1～2	日本語	
			UC08060	国際会計特論Ⅱ	高須 悠介	1	1～2	日本語	
			UC08061	簿記原理特論Ⅰ	泉 宏之	1	1～2	日本語	
			UC08062	簿記原理特論Ⅱ	泉 宏之	1	1～2	日本語	
			UC08063	管理会計特論Ⅰ	中村 博之	1	1～2	日本語	
			UC08064	管理会計特論Ⅱ	中村 博之	1	1～2	日本語	
			UC08065	原価会計特論Ⅰ	高橋 賢	1	1～2	日本語	
			UC08066	原価会計特論Ⅱ	高橋 賢	1	1～2	日本語	
			UC08067	会計監査特論Ⅰ	前山 政之	1	1～2	日本語	
			UC08068	会計監査特論Ⅱ	前山 政之	1	1～2	日本語	
			UC08069	組織マネジメント特論Ⅰ	佐々木 秀綱	1	1～2	日本語	
			UC08070	組織マネジメント特論Ⅱ	佐々木 秀綱	1	1～2	日本語	
			UC08071	戦略経営特論Ⅰ	高井 文子	1	1～2	日本語	
			UC08072	戦略経営特論Ⅱ	高井 文子	1	1～2	日本語	
			UC08073	企業と社会特論Ⅰ	小川 慎一	1	1～2	日本語	
			UC08074	企業と社会特論Ⅱ	小川 慎一	1	1～2	日本語	
			UC08075	グローバル・イノベーション・マネジメント特論Ⅰ	大沼 雅也	1	1～2	日本語	
			UC08076	グローバル・イノベーション・マネジメント特論Ⅱ	大沼 雅也	1	1～2	日本語	
			UC08077	人的資源管理特論Ⅰ	二神 枝保	1	1～2	英語	
			UC08078	人的資源管理特論Ⅱ	二神 枝保	1	1～2	英語	
			UC08079	経営史特論Ⅰ	公文 蔵人	1	1～2	日本語	
			UC08080	経営史特論Ⅱ	公文 蔵人	1	1～2	日本語	
			UC08081	産業分析特論Ⅰ	-	1	1～2	日本語	R5年度開講なし
			UC08082	産業分析特論Ⅱ	-	1	1～2	日本語	R5年度開講なし
			UC08083	マーケティング特論Ⅰ	多田 伶	1	1～2	日本語	
			UC08084	マーケティング特論Ⅱ	多田 伶	1	1～2	日本語	
			UC08085	特殊講義（Current Issues in Japanese Management）	近藤 久美子	2	1～2	英語	
			UC08086	比較経営特論	横澤 公道, ほか	2	1～2	英語	
			UC08087	イノベーション組織論	周佐 喜和	1	1～2	日本語	
			UC08088	グローバルビジネスとイノベーション	周佐 喜和	1	1～2	日本語	
			UC08089	地域発展政策Ⅰ	遠藤 聡	1	1～2	日本語	
			UC08090	地域発展政策Ⅱ	遠藤 聡	1	1～2	日本語	
			UC08091	現代経済システムⅠ	小川 翔吾	1	1～2	日本語	
			UC08092	現代経済システムⅡ	小川 翔吾	1	1～2	日本語	
			UC08093	オペレーションズ・マネジメント特論	鈴木 定省	2	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）

科目分類		時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考
専門教育科目	国際関係	UC09001	世界経済論Ⅰ	-	1	1～2	日本語	R5年度開講なし
		UC09002	世界経済論Ⅱ	-	1	1～2	日本語	R5年度開講なし
		UC09003	世界経済論特論	-	2	1～2	日本語	R5年度開講なし
		UC09004	国際経済史Ⅰ	松永 友有	1	1～2	日本語	
		UC09005	国際経済史Ⅱ	松永 友有	1	1～2	日本語	
		UC09006	国際経済史特論	松永 友有	2	1～2	日本語	
		UC09007	中国経済Ⅰ	木崎 翠	1	1～2	日本語	
		UC09008	中国経済Ⅱ	木崎 翠	1	1～2	日本語	
		UC09009	中国経済特論	木崎 翠	2	1～2	日本語	
		UC09010	途上国経済Ⅰ	山崎 圭一	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09011	途上国経済Ⅱ	山崎 圭一	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09012	途上国経済特論	山崎 圭一	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09013	公会計特論Ⅰ	齋藤 真哉	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09014	公会計特論Ⅱ	齋藤 真哉	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09015	国際経営特論Ⅰ	竹内 竜介	1	1～2	日本語	
		UC09016	国際経営特論Ⅱ	竹内 竜介	1	1～2	日本語	
		UC09017	国際法研究Ⅰ-I	荒木 一郎	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09018	国際法研究Ⅰ-II	荒木 一郎	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09019	国際法研究Ⅱ-I	荒木 一郎	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
		UC09020	国際法研究Ⅱ-II	荒木 一郎	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
		UC09021	Japan's Development ExperiencesⅠ	荒木 一郎	1	1～2	英語	
		UC09022	Japan's Development ExperiencesⅡ	荒木 一郎	1	1～2	英語	
		UC09023	国際政治学研究Ⅰ	梶島 洋美	1	1～2	日本語	
		UC09024	国際政治学研究Ⅱ	梶島 洋美	1	1～2	日本語	
		UC09031	ODA and Practical IssuesⅠ	小林 誉明	1	1～2	英語	
		UC09032	ODA and Practical IssuesⅡ	小林 誉明	1	1～2	英語	
		UC09033	途上地域発展論A	佐藤 峰	2	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC09034	途上地域発展論B	-	2	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
		UC09035	国際支援政策論A	-	2	1～2	英語	隔年開講（偶数年度）
		UC09036	国際支援政策論B	藤掛 洋子	2	1～2	英語	隔年開講（奇数年度）
		UC09037	国際行政論研究Ⅰ	志賀 裕朗	2	1～2	日本語	
		UC09038	国際行政論研究Ⅱ	志賀 裕朗	2	1～2	日本語	
		UC09039	International Public Administration	志賀 裕朗	2	1～2	0	
	ビジネス法務	UC10001	行政法特論Ⅰ	板垣 勝彦	1	1～2	日本語	
		UC10002	行政法特論Ⅱ	板垣 勝彦	1	1～2	日本語	
		UC10003	知的財産法研究Ⅰ-I	濱口 太久未	1	1～2	日本語	
		UC10004	知的財産法研究Ⅰ-II	濱口 太久未	1	1～2	日本語	
		UC10005	財産法特論Ⅰ	渡邊 拓	1	1～2	日本語	
		UC10006	財産法特論Ⅱ	渡邊 拓	1	1～2	日本語	
		UC10007	会社法研究Ⅰ	芳賀 良	1	1～2	日本語	
		UC10008	会社法研究Ⅱ	芳賀 良	1	1～2	日本語	
		UC10009	民事訴訟法特論Ⅰ	西川 佳代	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC10010	民事訴訟法特論Ⅱ	西川 佳代	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC10011	倒産執行法研究Ⅰ-I	西川 佳代	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC10012	倒産執行法研究Ⅰ-II	西川 佳代	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC10013	倒産執行法研究Ⅱ-I	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
		UC10014	倒産執行法研究Ⅱ-II	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
		UC10015	刑法特論Ⅰ	内海 朋子	1	1～2	日本語	
		UC10016	刑法特論Ⅱ	内海 朋子	1	1～2	日本語	
		UC10017	租税法研究Ⅰ-I	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
		UC10018	租税法研究Ⅰ-II	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
		UC10019	労働法特論Ⅰ	石崎 由希子	1	1～2	日本語	
		UC10020	労働法特論Ⅱ	石崎 由希子	1	1～2	日本語	
		UC10021	労働法研究Ⅰ-I	石崎 由希子	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC10022	労働法研究Ⅰ-II	石崎 由希子	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
		UC10023	経済法研究Ⅰ	関根 豪政	2	1～2	日本語	
		UC10024	経済法研究Ⅱ	関根 豪政	2	1～2	日本語	

科目分類		時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考	
専門教育科目	講義科目	人間文化	UC11001	国際コミュニケーションⅠ	中村 良夫	1	1～2	日本語	
			UC11002	国際コミュニケーションⅡ	中村 良夫	1	1～2	日本語	
			UC11003	国際コミュニケーション特論	中村 良夫	2	1～2	日本語	
			UC11004	言語コミュニケーションとアイデンティティⅠ	マッコーレー アレクサンダー	1	1～2	日本語	
			UC11005	言語コミュニケーションとアイデンティティⅡ	マッコーレー アレクサンダー	1	1～2	日本語	
			UC11006	言語コミュニケーションとアイデンティティ特論	マッコーレー アレクサンダー	2	1～2	日本語	
			UC11007	比較社会文化特論Ⅰ	小林 正佳	1	1～2	日本語	
			UC11008	比較社会文化特論Ⅱ	小林 正佳	1	1～2	日本語	
			UC11009	刑事訴訟法特論Ⅰ	金子 章	1	1～2	日本語	
			UC11010	刑事訴訟法特論Ⅱ	金子 章	1	1～2	日本語	
			UC11011	財産法研究Ⅰ	宮澤 俊昭	1	1～2	日本語	
			UC11012	財産法研究Ⅱ	宮澤 俊昭	1	1～2	日本語	
			UC11013	家族法特論Ⅰ	常岡 史子	1	1～2	日本語	
			UC11014	家族法特論Ⅱ	常岡 史子	1	1～2	日本語	
			UC11015	高齢者法研究Ⅰ	-	1	1～2	日本語	休講
			UC11016	高齢者法研究Ⅱ	-	1	1～2	日本語	休講
			UC11017	社会保障法研究Ⅱ-I	-	1	1～2	日本語	休講
			UC11018	社会保障法研究Ⅱ-II	-	1	1～2	日本語	休講
			UC11019	Aging and LawⅠ	関 ふ佐子	1	1～2	英語	
			UC11020	Aging and LawⅡ	関 ふ佐子	1	1～2	英語	
			UC11021	法哲学特論Ⅰ	米村 幸太郎	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC11022	法哲学特論Ⅱ	米村 幸太郎	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC11023	法哲学研究Ⅰ	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC11024	法哲学研究Ⅱ	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC11025	政治学研究Ⅰ	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC11026	政治学研究Ⅱ	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC11027	Decision Making ProcessⅠ	梶島 洋美	1	1～2	英語	
			UC11028	Decision Making ProcessⅡ	梶島 洋美	1	1～2	英語	
			UC11029	社会老年学Ⅰ	安藤 孝敏	1	1～2	日本語	
			UC11030	社会老年学Ⅱ	安藤 孝敏	1	1～2	日本語	
			UC11031	映像芸術論Ⅰ	ファビアン カルバントラ	1	1～2	日本語	
			UC11032	映像芸術論Ⅱ	ファビアン カルバントラ	1	1～2	日本語	
			UC11033	現代文化論Ⅰ	清田 友則	1	1～2	日本語	
			UC11034	現代文化論Ⅱ	清田 友則	1	1～2	日本語	
			UC11035	空間文化論Ⅰ	樽沼 範久	1	1～2	日本語	
			UC11036	空間文化論Ⅱ	樽沼 範久	1	1～2	日本語	
			UC11037	文芸文化論Ⅰ	彦江 智弘	1	1～2	日本語	
			UC11038	文芸文化論Ⅱ	彦江 智弘	1	1～2	日本語	
			UC11039	現代芸術論Ⅰ	-	1	1～2	日本語	R5年度開講なし
			UC11040	現代芸術論Ⅱ	-	1	1～2	日本語	R5年度開講なし
			UC11041	アジア社会論Ⅰ	辻 大和	1	1～2	日本語	
			UC11042	アジア社会論Ⅱ	辻 大和	1	1～2	日本語	
			UC11043	文化人類学講義Ⅰ	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC11044	文化人類学講義Ⅱ	-	1	1～2	日本語	隔年開講（偶数年度）
			UC11045	ヨーロッパ社会文化論Ⅰ	小宮 正安	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC11046	ヨーロッパ社会文化論Ⅱ	小宮 正安	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC11047	現代社会文化論Ⅰ	長谷川 秀樹	1	1～2	日本語	
			UC11048	現代社会文化論Ⅱ	長谷川 秀樹	1	1～2	日本語	
			UC11049	現代思想と倫理学Ⅰ	下城 一	1	1～2	日本語	
			UC11050	現代思想と倫理学Ⅱ	下城 一	1	1～2	日本語	
			UC11051	教育人間学	藤井 佳世	1	1～2	日本語	
			UC11052	人間形成論	藤井 佳世	1	1～2	日本語	
			UC11053	質的研究と人間形成論	藤井 佳世	1	1～2	日本語	
			UC11054	中国古典文学	高芝 麻子	1	1～2	日本語	
			UC11055	中国古典と日本	高芝 麻子	1	1～2	日本語	
			UC11056	西洋近現代史論Ⅰ	棚橋 信明	1	1～2	日本語	
			UC11057	西洋近現代史論Ⅱ	棚橋 信明	1	1～2	日本語	
			UC11058	西洋都市社会史研究Ⅰ	棚橋 信明	1	1～2	日本語	
			UC11059	西洋都市社会史研究Ⅱ	棚橋 信明	1	1～2	日本語	
			UC11060	日本社会史研究Ⅰ	多和田 雅保	1	1～2	日本語	
			UC11061	日本社会史研究Ⅱ	多和田 雅保	1	1～2	日本語	
			UC11062	日本語教育学講義Ⅰ-I	小川 誉子美	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）
			UC11063	日本語教育学講義Ⅰ-II	小川 誉子美	1	1～2	日本語	隔年開講（奇数年度）

科目分類			時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考
講義科目	地域連携		UC12001	Governance and Development I	小林 誉明	1	1～2	英語	
			UC12002	Governance and Development II	小林 誉明	1	1～2	英語	
			UC12003	Public Administration and Management I	小池 治	1	1～2	英語	
			UC12004	Public Administration and Management II	小池 治	1	1～2	英語	
			UC12005	Local Governance I	小池 治	1	1～2	英語	
			UC12006	Local Governance II	小池 治	1	1～2	英語	
			UC12008	教育職業連関の社会学 I	新谷 康浩	1	1～2	日本語	
			UC12009	教育職業連関の社会学 II	新谷 康浩	1	1～2	日本語	
			UC12010	神奈川県の漢詩漢文	高芝 麻子	1	1～2	日本語	
			UC12011	日本地域史研究 I	多和田 雅保	1	1～2	日本語	
			UC12012	日本地域史研究 II	多和田 雅保	1	1～2	日本語	
			UC12013	公共性を育む地域と学校	藤井 佳世	1	1～2	日本語	
			UC12015	神奈川県の取り組む技術課題	為近 恵美	2	1～2	日本語	
			UC12016	越境社会と地域 I	長谷川 健治	1	1～2	日本語	
			UC12017	越境社会と地域 II	長谷川 健治	1	1～2	日本語	
			UC12018	都市地域社会論 I	三浦 倫平	1	1～2	日本語	
			UC12019	都市地域社会論 II	三浦 倫平	1	1～2	日本語	
			UC12020	Urban Transportation Planning	安部 遼祐	1	1～2	英語	
専門教育科目	演習		UD01011	応用AI演習 I	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD01022	応用AI演習 II	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD01034	応用AI演習 III	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD01045	応用AI演習 IV	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD01051	応用AI演習 V	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD01062	応用AI演習 VI	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD01074	応用AI演習 VII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD01085	応用AI演習 VIII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD02011	社会データサイエンス演習 I	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD02022	社会データサイエンス演習 II	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD02034	社会データサイエンス演習 III	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD02045	社会データサイエンス演習 IV	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD02051	社会データサイエンス演習 V	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD02062	社会データサイエンス演習 VI	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD02074	社会データサイエンス演習 VII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD02085	社会データサイエンス演習 VIII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD03011	リスク共生学演習 I	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD03022	リスク共生学演習 II	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD03034	リスク共生学演習 III	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD03045	リスク共生学演習 IV	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD03051	リスク共生学演習 V	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD03062	リスク共生学演習 VI	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD03074	リスク共生学演習 VII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD03085	リスク共生学演習 VIII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD04011	国際ガバナンス演習 I	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD04022	国際ガバナンス演習 II	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD04034	国際ガバナンス演習 III	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD04045	国際ガバナンス演習 IV	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD04051	国際ガバナンス演習 V	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD04062	国際ガバナンス演習 VI	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD04074	国際ガバナンス演習 VII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD04085	国際ガバナンス演習 VIII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD05011	成熟社会演習 I	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD05022	成熟社会演習 II	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD05034	成熟社会演習 III	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD05045	成熟社会演習 IV	各指導教員グループ	1	1	-	
			UD05051	成熟社会演習 V	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD05062	成熟社会演習 VI	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD05074	成熟社会演習 VII	各指導教員グループ	1	2	-	
			UD05085	成熟社会演習 VIII	各指導教員グループ	1	2	-	

科目分類	時間割コード	科目名	担当教員名	単位数	履修年次	使用言語	備考
専門教育科目	演習	UD06011 人間力創生演習Ⅰ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD06022 人間力創生演習Ⅱ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD06034 人間力創生演習Ⅲ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD06045 人間力創生演習Ⅳ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD06051 人間力創生演習Ⅴ	各指導教員グループ	1	2	-	
		UD06062 人間力創生演習Ⅵ	各指導教員グループ	1	2	-	
		UD06074 人間力創生演習Ⅶ	各指導教員グループ	1	2	-	
		UD06085 人間力創生演習Ⅷ	各指導教員グループ	1	2	-	
		UD07011 横浜アーバニスト演習Ⅰ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD07022 横浜アーバニスト演習Ⅱ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD07034 横浜アーバニスト演習Ⅲ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD07045 横浜アーバニスト演習Ⅳ	各指導教員グループ	1	1	-	
		UD07051 横浜アーバニスト演習Ⅴ	各指導教員グループ	1	2	-	
		UD07062 横浜アーバニスト演習Ⅵ	各指導教員グループ	1	2	-	
		UD07074 横浜アーバニスト演習Ⅶ	各指導教員グループ	1	2	-	
		UD07085 横浜アーバニスト演習Ⅷ	各指導教員グループ	1	2	-	
	ワークショップ	UE00100 ワークショップⅠ	全専任教員	1	1	-	第5タームに発表会を実施
		UE00200 ワークショップⅡ	全専任教員	1	2	-	第4タームに発表会を実施
	学外演習科目	UF00100 企業インターンシップⅠ	各指導教員グループ	1	1～2	-	
		UF00200 企業インターンシップⅡ	各指導教員グループ	2	1～2	-	
		UF00300 海外インターンシップⅠ	各指導教員グループ	1	1～2	-	
		UF00400 海外インターンシップⅡ	各指導教員グループ	2	1～2	-	
		UF00500 海外研修Ⅰ	各指導教員グループ	2	1～2	-	
		UF00600 海外研修Ⅱ	各指導教員グループ	2	1～2	-	

注意：使用言語「-」は、日本語と英語の併用など。

(4) 先進実践学環学位プログラム以外の授業科目の履修について

①大学院全学教育科目

大学院全学教育科目に位置付けられている科目のうち、当学環の開講科目となっている科目については、修了に必要な単位に含める。それ以外の大学院全学教育科目は、単位を修得しても修了に必要な単位には含めない。

②入学前に他大学院で単位を修得した科目

教授会が教育上有益と認めるときは、修了に必要な単位として認定する。なお、転入学の場合を除き、他大学大学院で修得した科目については 15 単位を認定単位数の上限とする。既修得単位認定を希望する者は、別途案内に従い手続きを行うこと。

(5) 社会人学生について

当学環の標準修了年限は 2 年間であるが、社会人特別選抜入試を経て入学した学生で、入学後も職業を有する学生に対して、入学時に、4 年間を限度とした長期履修計画の設定を認める。この場合、授業料は 2 年間分を納付すれば修了できるものとする。

なお、長期履修計画の履修期間については、研究の進捗状況により在学中 1 回に限り変更（短縮／延長）が可能であるが、延長する場合の履修期間は 4 年間を超えないこととする。履修期間の短縮を希望する者は当該学年を終了する 3 ヶ月前までに、履修期間の延長を希望する者は在学期間が満了する 3 ヶ月前までに、先進実践学環係へ申し出ること。申請書類は授業支援システム内の様式集に掲載しているので、必要に応じ、ダウンロードして使用すること。

4 教務関係諸手続

(1) 先進実践学環からの諸連絡、諸手続きにかかる申請書類等について

①諸連絡・学生呼び出し

主に授業支援システムを用いたメール配信（お知らせ発信）により行う。メールは YNU アドレス宛に送られるので、適宜確認すること。なお、当該システムでは、メールにファイルを添付して送信することができないため、送信内容に添付ファイルがある場合は、メール本文中で授業支援システムを確認するよう案内する。その際は、授業支援システムにログインし、内容を確認すること。

②各種お知らせの掲示

授業支援システム内の掲示板に掲示する。定期的に確認すること。

③申請書類の書式等

各種手続きの申請書類等は、授業支援システム内の様式集に掲載している。
必要に応じ、ダウンロードして使用すること。



授業支援システム QR コード

ログイン後、
【連絡専用】大学院先進実践学環
という科目を確認すること。

(2) 休学・復学・退学について

①休学

- ・病気、その他の事由により休学を希望する場合は、「横浜国立大学休学許可の基準」に従い、休学願（父母等連絡人連署）を提出し、学長の許可を得て、その年度の終わりまで休学することができる。
- ・休学願は休学開始希望日の 20 日以前までに提出すること。（様式は、授業支援システムの様式集からダウンロードすること。）
- ・病気のため修学が不相当と認められる学生に対しては、休学を命ずることがある。（学則第 50 条参照）
- ・休学を許可され、その休学期間が満了してもなおその理由が消滅しない学生は、さらに期間の延長を願い出ることができる。（期間を延長する場合は、休学期間満了前に延長手続をすること。）
- ・休学期間は、在学期間に算入されない。
- ・休学期間は、通算 2 年を超えることはできない。（下記基準の第 1 (2) の場合を除く。）

参考) 横浜国立大学休学許可の基準

第 1 横浜国立大学学則(以下「学則」という。)第 50 条第 4 項の規定に基づく休学の許可は、次の各号のいずれかに該当し、引き続き 3 か月以上欠席を要する者について許可するものとする。

- (1) 本人の疾病又は負傷のとき。（医師の診断書を必要とする。）
- (2) 本人の出産又は本人の子(法律上の養子を含む。)が 3 歳に達する日を限度として育児に従事するとき。（出産に関する医師の診断書等を必要とする。）
- (3) 学資の支弁が困難なとき。（理由書及び事実を証明する書類を必要とする。）
- (4) 世帯主その他の死亡等により一時的に家業に従事するとき。（理由書及びそれを証明する書類を必要とする。）
- (5) 家族を看病又は介護するとき。（看病については理由書及びそれを証明する医師の診断書を必要とする。介護については理由書及び証明書を必要とする。）
- (6) 勤務の都合のとき。（勤務先の証明書を必要とする。）
- (7) 外国の大学、短期大学又は大学院で学修することが教育上有益と認められたとき。（学修先の大学、短期大学又は大学院について証明する書類及び学修内容の書類を必要とする。）
- (8) その他教授会においてやむを得ない理由があると認めたとき。（理由を証明する書類を必要とする。）

第 2 学則第 51 条第 2 項及び横浜国立大学大学院学則第 22 条第 3 項に規定する理由は、前項第 2 号に限るものとする。

②復学

- ・休学期間中にその事由が消滅したときは、学長の許可を得て復学することができる。（様式は、授業支援システムの様式集からダウンロードすること。）
- ・休学期間が満了して復学する場合には、復学願を提出する必要はないが、復学する旨を事前に連絡すること。
- ・復学した者は、復学の際に月割計算によるその期の授業料を納入しなければならない。

③退学

- ・退学しようとする学生は、退学願（父母等連絡人連署）に詳細な理由書を添えて願い出て、学長の許可を得て退学することができる。
- ・退学願は退学希望日の 20 日以前までに提出すること。（様式は、授業支援システムの様式集からダウンロードすること。）
- ・退学する場合、その期の授業料は徴収される。
- ・退学する者は、学生証を返納しなければならない。

④他大学受験

- ・他大学を受験しようとする学生は、他大学受験願を提出し、学環長の許可を得て他大学を受験することができる。（事前に窓口へ申し出て、用紙の交付を受けること。）
- ・他大学を受験し、合格した場合は、速やかに当学環の退学手続きをとること。

(3) 諸届出について

手続内容	届出先	期日・期限	備考
学生の住所変更	教育企画課 (学生センター 2 階)	事由が発生した時	
学生の本籍地変更			
学生の改姓・改名			戸籍謄本を添付
父母等連絡人の住所変更			
父母等連絡人の変更			
海外渡航時の手続	先進実践学環係 (学生センター 3 階)	海外渡航前	本学WEBサイト(https://global.ynu.ac.jp/studyabroad/safety/)より、「海外渡航届」をダウンロードし、提出すること。 ※留学生が一時帰国する場合も含む。 ※その他必要な手続きや諸注意も WEB サイトに載っているので確認すること。 手続きには時間を要するものもあるため、余裕を持って準備するよう留意すること。 
在留カード情報の提出	グローバル推進課 留学生係	・入学時 ・カードの記載情報が変更になった時	在留期限の更新や住所変更等により、カード記載情報が変更になった時は、専用フォームから最新のカード情報を提出すること。 

(4) 証明書の発行について

①在学中の証明書の発行について

- ・在学証明書（和文/英文）・成績証明書（和文/英文）・修了見込証明書（和文/英文）・学生旅客運賃割引証・健康診断証明書は、「証明書自動発行機」で発行することができる。

証明書自動発行機設置場所：学生センター、理工学系事務棟、経営学部1号館

- ・その他の証明書類については、提出先・様式等を確認し、所定の「証明書交付願」に必要事項を記入の上、担当窓口で申請すること。即時交付はできないため、余裕を持って申請すること。

②修了後の諸証明書の交付手続きについて

本学 WEB サイト (<http://www.ynu.ac.jp/campus/procedure/certificate.html>) を確認の上、申請すること。即時交付はできないため、余裕を持って申請すること。



「卒業（修了）・成績証明書発行」

(5) 授業料の徴収について

授業料は原則として金融機関（預金口座）からの「自動引落」となる。自動引落等の月日には注意すること。



「入学科・授業料」

<https://www.ynu.ac.jp/campus/expense/payments.html>

5 専任教員一覧

(注) 複数の研究テーマを担当する教員もいる。

	担当学府	担当専攻	職位	教員氏名
応用AI	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	佐藤 恭一
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	前田 雄介
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	井上 史大
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	加藤 龍
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	高木 洋平
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	樋口 丈浩
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	淵脇 大海
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	講師	杉内 肇
	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	教授	市毛 弘一
	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	教授	濱上 知樹
	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	教授	藤本 康孝
	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	准教授	久我 宣裕
	理工学府	数物・電子情報系理工学専攻	准教授	杉本 千佳
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	岡嶋 克典
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	田中 秀毅
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	富井 尚志
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	長尾 智晴
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	藤井 友比呂
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	松本 勉
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	森 辰則
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	島 圭介
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	白川 真一
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	瀬川 悦生
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	田名部 元成
社会データサイエンス	国際社会科学府	経済学専攻	教授	石山 幸彦
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	伊集 守直
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	居城 琢
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	氏川 恵次
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	大森 義明
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	奥村 綱雄
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	木崎 翠
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	佐藤 清隆
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	Shrestha Nagendra
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	相馬 直子
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	永井 圭二
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	藤生 源子
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	邊 英治
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	松永 友有
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	山崎 圭一
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	池島 祥文
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	熊野 太郎
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	佐野 隆司
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	相馬 尚人
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	張 馨元
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	鶴岡 昌徳
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	出口 雄大
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	西川 輝
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	古川 知志雄
	国際社会科学府	経済学専攻	准教授	茂住 政一郎
	国際社会科学府	経済学専攻	講師	井田 有紀
	国際社会科学府	経済学専攻	講師	小川 翔吾
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	青木 洋
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	泉 宏之
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	伊藤 有希
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	大雄 智
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	大森 明
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	小川 慎一
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	貴志 奈央子
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	木村 晃久

	担当学府	担当専攻	職位	教員氏名
社会 データサイエンス	国際社会科学府	経営学専攻	教授	公文 蔵人
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	倉田 久
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	郭 沛俊
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	河野 英子
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	小林 正佳
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	齋藤 真哉
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	鈴木 定省
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	孫 穎
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	高井 文子
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	竹内 竜介
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	高橋 賢
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	田名部 元成
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	鶴見 裕之
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	中村 博之
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	原 俊雄
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	二神 枝保
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	前山 政之
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	真鍋 誠司
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	本橋 永至
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	森田 洋
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	谷地 弘安
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	山岡 徹
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	大沼 雅也
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	君島 美葵子
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	近藤 久美子
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	佐々木 秀綱
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	鈴木 香織
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	高須 悠介
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	楊 芸玥
	国際社会科学府	経営学専攻	准教授	横澤 公道
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	井上 史大
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	周佐 喜和
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	安本 雅典
	環境情報学府	人工環境専攻	准教授	遠藤 聡
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	茨木 貴徳
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	四方 順司
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	中本 敦浩
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	野間 淳
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	原下 秀士
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	山田 貴博
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	牛越 恵理佳
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	小関 健太
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	白崎 実
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	松井 和己
	環境情報学府	情報環境専攻	准教授	山形 紗恵子
リスク共生学	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	秋庭 義明
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	荒木 拓人
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	岡田 哲男
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	尾崎 伸吾
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	川村 恭己
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	西 佳樹
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	丸尾 昭二
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	村井 基彦
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	太田 裕貴
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	高木 洋平
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	平川 嘉昭
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	満行 泰河
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	宮路 幸二
	理工学府	化学・生命系理工学専攻	教授	多々見 純一
	理工学府	化学・生命系理工学専攻	准教授	飯島 志行
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	岡 泰資
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	亀屋 隆志
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	坂本 智
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	薩本 弥生

	担当学府	担当専攻	職位	教員氏名
リスク共生学	環境情報学府	人工環境専攻	教授	澁谷 忠弘
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	中井 里史
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	松宮 正彦
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	松本 真哉
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	三宅 淳巳
	環境情報学府	人工環境専攻	准教授	笠井 尚哉
	環境情報学府	人工環境専攻	准教授	熊崎 美枝子
	環境情報学府	人工環境専攻	准教授	小林 剛
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	石川 正弘
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	鏡味 麻衣子
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	河潟 俊吾
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	小池 文人
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	酒井 暁子
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	佐々木 雄大
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	下出 信次
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	平塚 和之
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	筆保 弘徳
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	山本 伸次
	環境情報学府	自然環境専攻	教授	和仁 良二
	環境情報学府	自然環境専攻	准教授	倉田 薫子
	環境情報学府	自然環境専攻	准教授	中村 達夫
	環境情報学府	自然環境専攻	准教授	中森 泰三
	環境情報学府	自然環境専攻	准教授	吉田 龍二
	環境情報学府	情報環境専攻	教授	吉岡 克成
国際カバナンス	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	荒木 一郎
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	枕島 洋美
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	川端 康之
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	笹岡 愛美
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	志賀 裕朗
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	関根 豪政
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	准教授	小林 誉明
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	岡田 哲男
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	教授	村井 基彦
	理工学府	機械・材料・海洋系工学専攻	准教授	井上 史大
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	安本 雅典
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	藤掛 洋子
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	准教授	佐藤 峰
成熟社会	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	石崎 由希子
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	常岡 史子
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	西川 佳代
	国際社会科学府	国際経済法学専攻	教授	濱口 太久未
	国際社会科学府	経済学専攻	教授	相馬 直子
	環境情報学府	人工環境専攻	教授	安藤 孝敏
	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	准教授	藤岡 泰寛
人間力創生	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	准教授	平倉 圭
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	下城 一
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	新谷 康浩
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	棚橋 信明
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	多和田 雅保
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	藤井 佳世
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	松本 尚之
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	准教授	高芝 麻子
横浜アーバンリスト	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	教授	大野 敏
	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	教授	高見沢 実
	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	准教授	野原 卓
	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	准教授	藤岡 泰寛
	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	准教授	矢吹 剣一
	都市イノベーション学府	建築都市文化専攻	准教授	志村 真紀
	都市イノベーション学府	都市地域社会専攻	教授	齊藤 麻人
	国際社会科学府	経営学専攻	教授	田名部 元成

○横浜国立大学大学院先進実践学環規則

(令和3年3月17日規則第16号)

改正 令和4年3月30日規則第49号

(趣旨)

第1条 この規則は、横浜国立大学大学院学則（以下「大学院学則」という。）第11条及び第12条の規定に基づき、横浜国立大学大学院先進実践学環（以下「学環」という。）における授業科目、単位数、履修方法等について定めるものとする。

(授業科目及び単位)

第2条 学環における授業科目及び単位数は、学環教授会（以下「教授会」という。）の議を経て、横浜国立大学大学院先進実践学環長（以下「学環長」という。）が別に定める。

2 学環における授業科目の1単位当たりの授業時間は、次のとおりとする。

(1) 講義及び演習については、15時間の授業をもって1単位とする。ただし、演習については、30時間の授業をもって1単位とすることができる。

(2) 実験、実習及び実技については、30時間の授業をもって1単位とする。ただし、教育上必要と認める場合には、実験及び実習の一部については、45時間の授業をもって1単位とすることができる。

(3) 授業科目で講義、演習、実験、実習及び実技のいずれかを複数併用する場合については、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第15条の規定に基づき、当該授業の方法の組み合わせに応じ授業時間数から単位数を算定する。

(指導教員等)

第3条 学環の授業及び学位論文の作成等に対する指導（以下「研究指導」という。）を行うため、学生ごとに指導教員（責任指導教員及び指導教員各1名）を定める。

2 指導教員に関し必要な事項については、教授会の議を経て学環長が別に定める。

(教育方法の特例)

第4条 教授会が教育上特別の必要があると認める場合には、夜間その他特定の時間又は時期において授業又は研究指導を行う等の適当な方法により教育を行うことができる。

(履修方法)

第5条 学生は、指導教員の指導により、別に定める所定の単位以上を履修しなければならない。

(長期にわたる課程の履修)

第6条 学生が、大学院学則第14条の規定により長期にわたる課程の履修を希望するときは、別に定めるところにより、学環長に願い出て、許可を受けなければならない。

(他の大学院等の授業科目の履修)

第7条 学生は、教授会の議を経て、他の大学院（外国の大学院を含む。以下同じ。）及び本学大学院の他の研究科又は学府の授業科目を履修することができる。

2 前項の規定により履修した授業科目について修得した単位は、15単位を限度として課程修了の単位として認めることができる。

3 第2項、第8条第1項及び第9条第1項で修得したものとすることのできる単位は、合わせて20単位を超えないものとする。

(休学期間中の外国の大学院における授業科目の履修)

第8条 教育上有益と認めるときは、学生が休学期間中に外国の大学院において履修した授業科目について修得した単位を、教授会の議を経て、学環における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により修得したものとみなすことができる単位数は、前条第2項の規定により修得した単位数と合わせて、15単位を超えないものとする。

(入学前の既修得単位の認定及び在学期間の取扱い)

第9条 学環に入学した者が、入学する前に大学院（他の大学院及び外国の大学院を含む。）において履修した授業科目について修得した単位（大学院設置基準第15条に規定する科目等履修生として修得した単位を含む。）を有する場合、教育上有益と認めるときは、教授会の議を経て、学環における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

2 前項の規定により、修得したものとみなすことができる単位数は、転入学の場合を除き、本学の大学院で修得した単位以外のものについては、15単位を超えないものとする。

3 学環は、入学前に修得した単位（入学資格を有した後に修得したものに限る。）を学環において修得したものとみなす場合であって、学環の教育課程の一部を履修したと認めるときは、単位数、その修得に要した期間その他を勘案して、1年を超えない範囲で学環が定める期間在学したものとみなすことができる。ただし、この場合においても、学環に1年以上在学するものとする。

(他の大学院等の研究指導)

第10条 学生は、教授会の議を経て、他の大学院又は研究所等（以下「他の大学院等」という。）において研究指導を受けることができる。ただし、当該研究指導を受ける期間は、1年を超えないものとする。

2 前項の規定により、他の大学院等で受けた研究指導は、課程修了に必要な研究指導の一部として認めることができる。

(修了要件)

第11条 学環の修了要件は、当該課程に2年以上在学し、30単位以上を修得し、修了に必要な授業科目においてGPA（Grade Point Average）2.0以上を満たし、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。ただし、在学期間に関しては、優れた研究業績を上げた者で、教授会の議を経て学環長が認めたものについては、当該課程に1年以上在学すれば足りるものとする。

2 前項の規定にかかわらず、第6条の規定により長期にわたる課程の履修を認められた者の修了要件は、当該履修期間在学し、30単位以上を修得し、修了に必要な授業科目においてGPA（Grade Point Average）2.0以上を満たし、かつ、必要な研究指導を受けた上、修士論文の審査及び最終試験に合格することとする。

3 学位論文の審査については、横浜国立大学学位規則の定めるところによる。

(学位論文の提出時期)

第12条 学位論文は、学環が別に定める期間内に提出しなければならない。

(学修証明書等)

第13条 大学院学則第8条の5の規定により編成された学修証明プログラムのうち、別に定める学修証明プログラムを履修し、学修証明書を取得することができる。

(雑則)

第14条 この規則に定めるもののほか、学環に関し必要な事項は、学環長が別に定める。

附 則

この規則は、令和3年4月1日から施行する。

附 則(令和4年3月30日規則第49号)

この規則は、令和4年4月1日から施行する。